

家畜衛生広報



ながの

長野家畜保健衛生所
北信家畜畜産物衛生指導協会
〒380-0944 長野市安茂里米村1993
Tel 026-226-0923 Facs.026-227-2665
E-mail: nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

～もうすぐ冬が来ます。

PEDの防疫対策は万全ですか？～

2013年10月から全国でPEDが大流行しています。夏には発生件数も減少してきましたが、群馬や愛知などでは未だ発生が継続しています。また、本年10月には、本県でも再発生が確認されたほか、東京では新たな発生がありました。

これから寒い冬を迎え、PEDの再流行が心配になる季節になります。今後もPEDワクチン接種の継続、飼養衛生管理基準の遵守、消毒等を徹底し、農場内への侵入防止に十分ご注意ください。

<PEDの特徴>

- ① 哺乳豚の症状は、黄白色水様下痢と脱水で、死亡率はほぼ100%。下痢による激しい脱水のため死亡します。
- ② 離乳豚では死亡率は低く、混合感染がなければ1週間程度で回復します。
- ③ 母豚の症状は、食欲不振、泌乳停止等で、この泌乳停止により哺乳豚の脱水が酷くなり死亡してしまいます。
- ④ 下痢便や糞便に汚染された物から感染が拡大します。
- ⑤ 不顕性感染豚（無症状の豚）の移動で感染しているケースもあります。
- ⑥ 耐過豚は再感染し、農場内に常在化してしまいます。
- ⑦ 症状が治まった沈静化した農場で、発生後4カ月経過しても糞便からPEDウイルスが検出された例もあります。

具体的な対策

- ①侵入防止 : 農場出入口等の消毒を徹底しましょう。
長靴は汚れを確実に落としてから踏込消毒槽で消毒を！
靴底の糞便には30分以上の浸け置き消毒も有効です。
- ②ワクチン接種 ; 2回接種を継続し、すべての母豚の抗体価を底上げしましょう。
- ③異常豚の通報 ; 下痢等の異常を発見したら、すぐに家畜保健衛生所に連絡をお願いします。

長野家畜保健衛生所 電話 026-226-0923 ファクシミリ 026-227-2665

問い合わせ・連絡先 長野家畜保健衛生所（担当：神田章、小林千恵）

